

# 感染管理における MONITARO の有用性



小林 美奈子 先生

日本医科大学武蔵小杉病院  
感染制御部部长 臨床教授

## MONITARO 導入前の課題

- ・ 誰がいつどのくらい病院に滞在していたのか、紙で管理していたためタイムリーに把握できなかった。
- ・ コロナ禍において患者さんの入館制限は実施していたが、**外部業者の管理は不十分な可能性があった。**
- ・ ワクチン接種の有無を病院側で確認するのが難しかった。

## MONITARO 導入の決め手

- ・ 病院負担が無いこと。
- ・ 病院側の準備が要らなかったこと。工事も不要。
- ・ 外部業者への案内書が用意されていたこと。

病院  
無料

“置くだけMONITARO”

今まで...

紙で訪問者を管理



いざという時に

訪問者の特定が大変



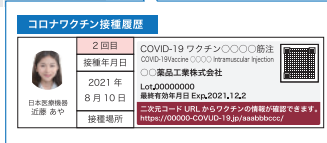
製薬・医療機器会社が  
利用料を負担。(1人月 500 円)

500

## MONITARO 導入後に実現できたこと

### 出入時刻、ワクチン接種の把握

訪問者	日時	IN	OUT	滞在時間	体温	問診チェック	ワクチン接種
 山下一	2021年10月8日	8:30	13:15	4時間45分	36.5°C	○	○
 西田 亮平	2021年10月8日	9:00	10:30	1時間30分	35.9°C	○	○ <b>Click</b>
 伊藤 直樹	2021年10月8日	9:30	12:10	2時間40分	36.8°C	○	○



もし何かあった場合の確認が容易。  
ワクチン接種履歴も分かる。

### ボタン1つで一斉通知



国の方針が変わる中、訪問規制や  
訪問禁止などの連絡が簡単に行えた。

### 訪問予定が事前に分かる



訪問予定を事前に確認することで  
外部業者が密になることを回避。